

新しい学習指導要領がスタートしています！

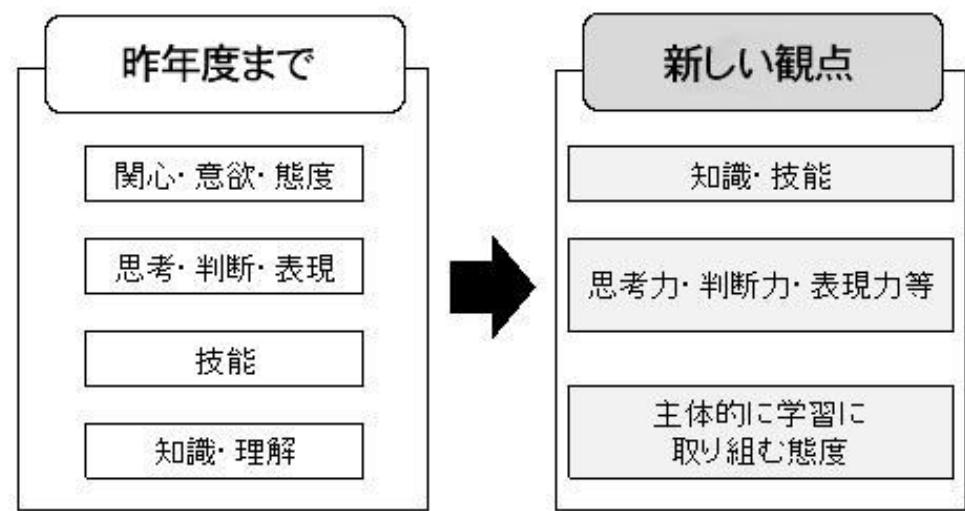
今年度より学習指導要領が改訂され、学習内容や子どもたちの目指すべき力等が大きく変わりました。よくニュース等でも報道されていたので、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。

「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるように、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。その時代に求められている力を育成していくため、およそ10年に一度改訂されています。子どもたちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

今回の学校だよりでは、学習指導要領の中でも子どもたちのあゆみに関わる学習評価についてお伝えします。

1、観点別学習状況の評価の観点の整理について

今回の改訂で、各教科における評価の観点が大きく変更されました。これまでの4観点より、3観点到整理されました。



あゆみの各教科の評価項目も3つに整理、まとめられており、上記の3つの観点別で子どもたちの学習状況进行评估することになります。

4観点が3観点到整理されますので、◎が減る児童もいるかもしれませんが、◎の数で評価するのではなく、○が「おおむね満足できる」状況と判断していますので、ご家庭ではお子様の頑張りを見ていただき、次につながる声掛けの方をよろしくお願いいたします。

2、学習評価の内容

子どもたちの学習状況进行评估する際、3つの観点別に評価しますが、それぞれの観点別での評価内容について下記にまとめていますので、ご参照ください。

「<u>知識・技能</u>」の評価について ○ ペーパーテストによる評価。(知識・技能) ○ テスト以外での学習状況 文章や式・グラフによる表現・説明、教科によっては観察や実験・実習での様子等。 ☆ <u>ペーパーテストだけでは判断せず</u>、主に2つのことを<u>総合的に判断して</u>、「知識・技能」の評価をします。
「<u>思考・判断・表現</u>」の評価について ○ ペーパーテストによる評価。(思考・判断・表現) ○ テスト以外での学習状況。 論述やレポート、発表、グループや学級での話し合い、作品の製作や表現等の多様な活動等。 ☆ <u>ペーパーテストだけでは判断せず</u>、主に2つのことを<u>総合的に判断して</u>、「思考・判断・表現」の評価をします。
「<u>主体的に学習に取り組む態度</u>」の評価について ○ 授業のノート等における記述、授業での発言、授業の様子、子どもたち自身のふり返し等 ○ 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点の状況に結びついているか。 ○ 学習や取組みに対して粘り強く行おうとしているか。 ○ 自らの学習を調整しようとしているか。 (=自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な様子) ☆ 主に4つのことを<u>総合的に判断して</u>、「主体的に学習に取り組む態度」の評価をします。

参考資料：文部科学省 国立教育政策研究所教育課程センター 作成資料
学習指導要領の詳細は、文部科学省のホームページをご参照ください。

このように、今年度より昨年度までとは違う形での評価になり、今回お示ししたことを基準のもと、子どもたちの学習状況进行评估していきます。学年によって学習内容や取組みも変わりますので、詳細は各学年の学年だよりをご参照ください。あゆみは、本日8月28日(金)にお渡しします。 よろしくお伝えいたします。